



ミラノ会総会にて教皇様と握手されるザビエル神父様

皆さんにも感謝！ 神に感謝！

主任司祭 ロールド・ザビエル

あゆみ

2019年
さつき祭・堅信式号
WEB版

創立**50**周年

発行所
カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463
FAX042(592)2464

五月十四日にローマで行われたミラノ外国宣教会の総会で、わたしは総長顧問として選出され、高幡教会から、そして日本から離れることになりました。

来日してから六年は短いし、高幡教会もそれほど長くはなかったです。私はインドで十年間神学校の養成担当としてやってきましたが、日本に来て初めて、日本語の勉強の後、司牧活動に没頭できたのです。それは宣教師として神様からの大恵みだと思っております。司牧活動で良い牧者であるキリストの姿を示し、共同体の一致のために全力を尽くすのが司祭の使命だと信じています。わたしは司祭として高幡共同体とともに成長してきたのも真実であります。色々な皆さんと出会って、色々な皆さんの人生の物語と関わってき、逆に、私自身が恵みを受けたと思います。

神の導きは本当に不思議です。日本に来た時の喜んでいた気持ちがあるが、

少し悲しい気持ちになりました。でも、「それは当然でしょう」という人もいるし、神様の想いは私たちの想いと違い「何か新しい道を開いてくれるでしょう」という人もいます。今の私の思いはイエスの御ことばにある通りです。「自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。」その通りです。私たちはどこにいても、神のみ旨と神の御ことばに従っていくのが大切です。それは、神がいつも誠実で忠実な方だからです。

今年の復活主日から高幡教会の五十周年のお祝いが始まりました。「私たちは生きた石である。そのためイエスの愛にとどまりましょう」というテーマをもとにして歩んでいく企画です。それは、一年間のあゆみだけではありません。将来この共同体が宣教を大切にし、福音を告げ知らせる共同体になるための指針でもあります。多くの皆さんはその義務と責任を感じていると思います。それは神の恵みではないでしょうか。

そういうわけで、私の気持ちは感謝でいっぱいです。聖パウロがフィリッピ教会への手紙に書いたメッセージをわたしのことばとして皆さん



救い主の像(ローマ)

に伝えたいと思います。「わたしは、あなたがたのことを思い起こす度に、わたしの神に感謝し、あなたが一同のために祈る度に、いつも喜びをもつて祈っています。それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです。あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。」(フィリピー：三〇六)

皆さん、短い間でしたが、大変お世話になりました。誠にありがとうございます。主の祝福を皆さんの上に願いつつお別れです。これからもよろしくお願ひします。✝

信徒会だより

信徒会委員長

今年三月から五月にかけて二度、ザビエル神父様のローマ出張で不在の時期がありました。この間、ミラノ会や神言会などの神父様による主日のミサ、葬儀ミサなどで大変お世話になりました。さまざま神父様方のお力をいただきました。感謝いたします。各信徒会委員は、緊張の中でしたが、役割を果たせるよう、務めることができました。

ザビエル神父様のミラノ会顧問ご就任で、残念ながら七月七日までの主任司祭となりませんが、神様のお導きですから、さらなるご活躍をお祈りしたいと思います。

五月十九日(日)の「さつき祭」は、初代主任司祭ジャン・シャル・ロワゼール神父様による司式で、司祭叙階六十周年記念とあわせて、大きな祈りにつつまれました。信徒からの「手紙」「祝金」「花束」を差し上げました。

以下、主な内容です。
一・四月十四日 枝の主日。信徒委員会(エレベーター献金、創立五十周年記念の祈り等)

- 二・ 四月十八日 聖木曜日ミサ
- 三・ 四月十九日 聖金曜日ミサ
- 四・ 四月二十日 復活徹夜祭ミサ
・ 洗礼式
- 五・ 四月二十一日 復活祭ミサ
・ 転会式
・ 初聖体
- 六・ 五月十二日 十時ミサ後、信徒連絡会(ザビエル神父様不在時の聖体訪問は奉仕者もしくはルルドの会、塗油は辻茂神父様に依頼する)
- 七・ 六月二日 ミサ後、拡大委員会(さつき祭反省会など)
- 八・ 六月九日 ミサ後、信徒委員会(六月二十三日の堅信式・初聖体ミサ・祝賀会等について)
その後、姉妹教会反省会(由木教会、永山教会とともに)
- 九・ 菊地功大司教様の提言「多様性における一致を掲げて 宣教司牧方針について」は、五月二十七日に大司教様へ送付しました。
- 十・ 教会聖堂屋根の改修工事については、今月着手予定です。

堅信式と初聖体

六月二十三日、森一弘司教様とザビエル神父様の共同司式ミサで、十五人の信徒が堅信の秘跡を授けられ、一人の子供が初聖体を受けました。

今年一年間を通して高幡教会創立五十周年を祝う記念行事の一環として行われた堅信式の後、堅信と初聖体を祝う祝賀会が行われました。

ミサでの森司教様お説教では、「教皇様は『今の教会は野戦病院にならないといけない』とはつきりと語られています。



受堅後、森司教様、ザビエル神父様と一緒に

野戦病院とは立派な設備ではありません。お医者さん、看護師さんは少ないかも知れないけれども、自分の地域の周りは傷付いている人たちが沢山いることを認識し、そういう人たちに目を向けて手を差し伸べ、向き合いながら一緒に生きていくという教会の状況が教会の本当の姿ではないでしょうか」と話されました。

続いて「洗礼を受ければ、自分を守ってもらえるという自己中心の考え方だと本当の教会、イエス様の心と違うんですよ」ということを教皇様は語っておられます。野戦病院というのは周りの人に対して目を開いているところです。周りの人とは一緒に生活している家族かも



森司教様から初聖体を受ける

知れないです。身近なところに目を向けないといけない人がいるかも知れません。そういう人たちに心を開いてもっと誠実に関わっていくことが本当のキリスト者としての姿で、キリストが私たちに期待する本当の姿ではないでしょうか」とのお話がありました。

最後に「堅信の秘跡というのは、イエス様から愛の息吹、愛の力をいただくことです。自分の為に愛の命を受けることです。今日、堅信を受けるに当たって、もう一度自分に心の目を向けて、自分の心の目をもっと開かれることが求められます。人との出会い、そして、人を大事にし、自分は人によって支えられていること、人と共に生きることを大事にすることがキリストの本当の心だと思つて、これからは周りの人と向き合っていくるように、大きな恵みが与えられますように、ご一緒にお祈りしていきたいと思えます」とお話しされました。(編集部)

堅信式・初聖体ミサの共同祈願

今日、堅信の秘跡に授けられた十五人の方々と初聖体の恵みをいただいたAさんのために祈ります。初聖体の光と力を豊かに注いでください。重荷と労苦を背負う人々と共に、神様から与えられた喜びと希望を分かち合い、教会生活をより一層、豊かな日々を歩んでいくことが出来ますようにお守りください。

さつき祭

高幡教会では、五月十九日の復活祭第五主日の十時ミサ後に、光塩幼稚園前庭にて「イエスはまことのぶどうの木」をテーマとする第四十四回さつき祭をお祝いしました。

当教会の初代主任司祭のロワゼール神父様の司式で執り行われたミサには、



さつき祭の日の教会全景



司式されるロワゼール神父様

聖堂、小聖堂、三階の会議室に大勢の人が与かりました。ミサ中にロワゼール神父様の司祭叙階六十周年記念を祝う信徒からのプレゼントが贈られました。ミサ後、祭壇を囲んでの記念写真撮影がありました。

さつき祭は、信徒委員長の挨拶の後に各店グループの模擬店が開始しました。模擬店は、高幡教会の各グループ、メルセス会日野修道院、日本ホーリネス教団由木キリスト教会、ボーイ・ガールなどが出店し、お弁当・焼きそば・お菓子・苗などの販売が行われました。今年度は天気にも恵まれ、会場中央のテントの休憩所では食事を楽しまつ、皆さんの会話が弾みました。

さつき祭中に、日本基督教団永山教会の小手川師、由木教会の小枝師、豊田教会の信徒代表、八王子教会の神学生とリーダーのご挨拶がありました。

最後にロワゼール神父様から次のような挨拶がありました。「このように皆様と楽しくお話ができることは神様からの恵みだと思えます。これで暫くお会いできないかもしれませんが、皆様のためにお祈りします。今は世界が狭くなっている時代です。今後は、皆さんがどうなっているかを誰かを通して伺いたいと思えます。皆さん、長生きして下さい。皆様のお陰で私は成長してきたと思えます。皆さんに感謝していますし、少しでもお返しできればと思えます。皆さんとの素晴らしい出会いを思いながら、祈りを通してお返ししたいと思います。本当にありがとうございます。」

さつき祭は、アヴェ・マリアの祈りを捧げた後、閉会となりました。(編集部)



私たちを見守ってくださる聖母マリア



お菓子販売模擬店



お弁当販売模擬店



ようこそ。受付です



アカシア会の模擬店



天気にも恵まれました



姉妹教会の模擬店



焼き鳥と焼きそば模擬店



美味しいお茶をどうぞ



福島野菜販売模擬店



ルルドの会の模擬店



メルセス修道会のお店です



日曜学校の模擬店



定住支援グループの模擬店



ミカエルショップの模擬店



緑の会の模擬店